

戦後博覧会資料集成

★監修・解説★福間良明

立命館大学産業社会学部教授

戦後、日本人は博覧会を通じて
どのような未来を描いていたのか？
全国各地で開催された様々なテーマ
の博覧会の各種資料を集大成し、
戦後地方博覧会史を解明する。

全15巻



ゆまに
書房
YUMANI
SHOBU

戦後博覧会資料集成 全15巻

【監修・解説】福間良明 A5判(①~⑫) B5判(⑬) 上製/カバー装 ●揃定価：本体319,000円+税 ISBN978-4-8433-5693-7 C3321

第1回配本・全5巻 揃定価：本体99,000円+税 ISBN978-4-8433-5694-4 C3321 2020年4月刊行予定

●第1巻● 福山産業復興博覧会々誌／一九四七年十一月 復興博覧会会誌 定価：本体17,000円+税 ISBN978-4-8433-5697-5
博覧会を了えて(平和博覧会)／平和博覧会

●第2巻● 復興大博覧会誌／愛媛県産業復興松山大博覧会案内 定価：本体20,000円+税 ISBN978-4-8433-5698-2
愛媛県産業復興松山大博覧会誌

●第3巻● 宗教平和博会場案内／全日本宗教平和博覧会誌 定価：本体21,000円+税 ISBN978-4-8433-5699-9
新八重山(八重山復興博覧会)

●第4巻● 貿易と産業(日本貿易博覧会) 定価：本体21,000円+税 ISBN978-4-8433-5700-2

●第5巻● 長野平和博覧会誌 定価：本体20,000円+税 ISBN978-4-8433-5701-9

第2回配本・全5巻 揃定価：本体99,000円+税 ISBN978-4-8433-5695-1 C3321 2020年10月刊行予定

●第6巻● 日本貿易産業博覧会“神戸博”会誌 定価：本体14,000円+税 ISBN978-4-8433-5702-6

●第7巻● 北海道開発大博覧会誌 定価：本体19,000円+税 ISBN978-4-8433-5703-3

●第8巻● 高岡産業博覧会誌 上巻 定価：本体22,000円+税 ISBN978-4-8433-5704-0

●第9巻● 高岡産業博覧会誌 下巻 定価：本体22,000円+税 ISBN978-4-8433-5705-7

●第10巻● 南国高知産業大博覧会誌 定価：本体22,000円+税 ISBN978-4-8433-5706-4
新潟県産業観光大博覧会誌／福井復興博覧会

第3回配本・全5巻 揃定価：本体121,000円+税 ISBN978-4-8433-5696-8 C3321 2021年3月刊行予定

●第11巻● 豊橋産業文化大博覧会誌／関門海底国道トンネル開通記念 定価：本体23,000円+税 ISBN978-4-8433-5707-1
世界貿易産業大博覧会誌 門司トンネル博

●第12巻● 富山産業大博覧会誌 上巻 定価：本体26,000円+税 ISBN978-4-8433-5708-8

●第13巻● 富山産業大博覧会誌 下巻 定価：本体26,000円+税 ISBN978-4-8433-5709-5

●第14巻● 広島復興大博覧会誌／解説 定価：本体19,000円+税 ISBN978-4-8433-5710-1

●第15巻● アメリカ博覧会／アメリカ博覧会 定価：本体27,000円+税 ISBN978-4-8433-5711-8

原子力平和利用の契(原子力平和利用博覧会パンフレット)
北海道大博覧会協賛会誌／北海道大博覧会誌
北海道大博覧会 海の小樽会場

昭和天皇戦後巡幸資料集成 全18巻

戦後復興期主要産業の実態 全14巻

北海道立文書館所蔵 戦後千島関係資料 全4巻

【監修・解説】瀬畑 源

A5判上製/カバー装 ●揃定価：本体290,000円+税

【監修】中村青志

A5判上製/函入 ●揃定価：本体141,000円+税

【監修・解説】黒岩幸子

A5判上製/カバー装 ●揃定価：本体98,000円+税

ゆまに
書房
YUMANI
SHOBU
〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL.03(5296)0491
FAX.03(5296)0493
http://www.yumani.co.jp/
e-mail eigyou@yumani.co.jp

●特におすすめしたい方●

日本近現代史、文化史、地方史、美術史、メディア史、社会学研究
者、各大学の図書館、公共図書館など。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日	※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。
ご注文書	取扱店
戦後博覧会資料集成 全15巻 定価：本体319,000円+税 ISBN978-4-8433-5693-7 C3321	セット
お名前	
ご住所	TEL ()



【上】『復興大博覧会誌』(昭和24年)より

【下・バック】『原子力平和利用の契(原子力平和利用博覧会パンフレット)』(昭和30年)より

本書の特色

- 昭和20～30年代前半、沖縄・奄美を含む日本各地で開催された博覧会に関する資料を可能な限り収集・復刻し、全国的に通覧可能とした。
- 各博覧会の計画から終了までの経緯、収支、入場者数、物産・技術・娯楽等の展示物、観覧者やパヴィリオン等の写真他、戦後博覧会に関する情報を豊富に含む。
- 戦前、戦時の反省に立った、地方の復興、経済発展、平和主義等、戦後日本が進もうとした理想像を知る手がかりとなる。
- テレビ放送の開始、アメリカ文化の影響、原子力の平和利用等、現代につながる諸問題の出発点を示す。
- 第14巻に詳細な解説を附す。

戦後の日本では、大阪万博（一九七〇年）を皮切りに、沖縄海洋博（一九七五年）、愛知万博（二〇〇五年）といった国際博覧会が開催された。だが、それら以外にも、終戦間もない時期から、多くの博覧会が各地で開催されてきた。その主題もじつに多様だった。戦後復興、平和、アメリカへの憧れ、原子力平和利用、地方の産業振興など、さまざまなテーマを掲げた博覧会が、全国各地で開催されてきた。

しかし、各地の博覧会の戦後史を広く見渡すことは、これまで困難だった。資料が各地に散逸しているばかりではなく、どこでどんな博覧会が行われたのかをたどることも難しかった。入手困難な資料も決して少なくはない。本資料集は、高度成長期に差し掛かる前までの地方博覧会の各種資料を広く収めており、地方博の戦後史をめぐる研究の進展に寄与するものである。

収録された資料を眺めていると、北海道や北陸など地方都市の復興・開発をテーマにしたものが目に付く。震災や震災（福井地震など）からの復興を、地方がどう位置づけようとしていたのか。中央と地方の関係は、どのように捉えられていたのか。それは、原子力発電所やダム等をめぐる高度成長以降の開発主義と、どうつながるのか。こうした観点から戦後史を読み解く手掛かりになるだろう。

原子力平和利用博覧会、アメリカ博覧会、広島復興大博覧会などは、戦争の記憶とアメリカへの憧れ、そして「核」イメージを考えるうえで、興味深い。さらに、北部南西諸島復興博覧会や八重山復興博覧会など、米軍統治下の奄美や沖縄（石垣島）で開かれた博覧会資料も収められている。そこから、戦後最初期のこれらの地域と米軍、そして日本本土との関係性を捉え返すことにもできるだろう。

本資料集を通して、さまざまな観点から戦後博覧会史が切り拓かれることを期待したい。

（立命館大学産業社会学部教授）

●本書所収の博覧会の概要●

※主催者は当時の名称、開催地は現在の名称に合わせた。

名 称	主催者 ※	開催地 ※	会 期	来場者数	収録巻
福山地方産業復興博覧会	福山地方産業復興協会	福山市	昭和22年 5 月 1 日～ 6 月 8 日	25万人	①
北部南西諸島復興博覧会	北部南西諸島臨時政庁	奄美市	昭和22年11月10日～11月30日	3万人	①
平和博覧会	宇治山田市 宇治山田商工会議所	伊勢市	昭和23年 3 月31日～ 5 月31日	65万人	①
復興大博覧会	毎日新聞社	大阪市	昭和23年 9 月18日～11月17日	160万人	②
日本貿易博覧会	神奈川県／横浜市	横浜市	昭和24年 3 月15日～ 6 日15日	360万人	④
愛媛県産業復興松山大博覧会	松山市	松山市	昭和24年 3 月20日～ 5 月20日	42万人	②
長野平和博覧会	長野県／長野市 長野商工会議所	長野市	昭和24年 4 月 1 日～ 5 月31日	76万人	⑤
南国高知産業大博覧会	高知県／高知市	高知市	昭和25年 3 月18日～ 5 月 7 日	34万人	⑩
日本貿易産業博覧会「神戸博」	兵庫県／神戸市	神戸市	昭和25年 3 月15日～ 6 月15日	226万人	⑥
アメリカ博覧会	朝日新聞社	西宮市	昭和25年 3 月18日～ 6 月11日	200万人	⑬
全日本宗教平和博覧会	石川県宗教連盟 石川県観光連盟 北国新聞社	金沢市	昭和25年 4 月 8 日～ 5 月22日	23万人	③
北海道開発大博覧会	北海道庁／旭川市	旭川市	昭和25年 7 月15日～ 8 月23日	51万人	⑦
八重山復興博覧会	八重山民政府	石垣市	昭和25年 8 月 1 日～ 8 月 5 日	4万人	③
高岡産業博覧会	富山県／高岡市	高岡市	昭和26年 4 月 4 日～ 5 月25日	62万人	⑧,⑨
福井復興博覧会	福井市	福井市	昭和27年 4 月10日～ 6 月10日	90万人	⑩
新潟県産業観光大博覧会	新潟県新潟市	新潟市	昭和28年 7 月 1 日～ 8 月30日	60万人	⑩
豊橋産業文化大博覧会	愛知県教育委員会 豊橋市教育委員会	豊橋市	昭和29年 3 月20日～ 5 月10日	116万人	⑪
富山産業大博覧会	富山県／富山市	富山市／魚津市	昭和29年 4 月11日～ 6 月 4 日	70万人	⑫,⑬
原子力平和利用博覧会	読売新聞社 中日新聞社等12社	東京都／ 大阪市等11都市	昭和30年11月1日～同32年8月18日	300万人 (全会場の合計)	⑮
門司トンネル博覧会	門司市	北九州市	昭和33年 3 月20日～ 5 月25日	112万人	⑪
広島復興大博覧会	広島市	広島市	昭和33年 4 月 1 日～ 5 月20日	88万人	⑭
北海道大博覧会（札幌会場）	北海道／札幌市／小樽市	札幌市／小樽市	昭和33年 7 月 5 日～ 8 月31日	259万人（札幌会場） 160万人（小樽会場）	⑮

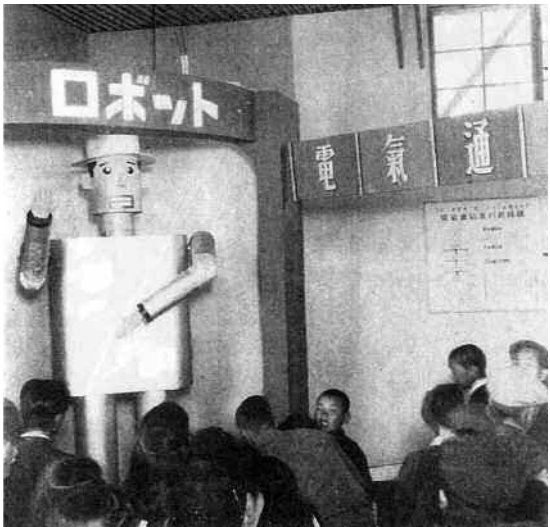
本書所収の各資料、橋爪紳也監修『別冊太陽 日本の博覧会 寺下勅コレクション』（平凡社・2005年）、津金澤聰廣編著『戦後日本のメディア・イベント 1945-1960年』（世界思想社・2002年）、『海南時報』（1950年8月7日）をもとに、ゆまに書房編集部が作成。



アメリカ博覧会（昭和25年）



日本貿易産業博覧会「神戸博」（昭和25年）



南国高知産業大博覧会（昭和25年）



広島復興大博覧会（昭和33年）



広島復興大博覧会（昭和33年）

収録文献一覧

- 第1巻『福山産業復興博覧会々誌』 産業復興協会編・発行／1947年
『一九四七年十一月 復興博覧会会誌』 臨時北部南西諸島政庁編・発行／1948年
『博覧会を了えて』 宇治山田市役所編・発行／1948年
『平和博覧会』 北岡善之助編・発行／1949年
- 第2巻『復興大博覧会誌』 毎日新聞社編・発行／1949年
『愛媛県産業復興松山大博覧会案内』 伊予時事新聞社編・発行／1949年
『愛媛県産業復興松山大博覧会誌』 愛媛県産業復興松山大博覧会事務局編・発行／1950年
- 第3巻『宗教平和博会場案内』 黒田哲平編・発行／1950年
『全日本宗教平和博覧会誌』 全日本宗教平和博覧会編・発行／1950年
『新八重山』 記念誌編纂局編・八重山民政府発行／1950年
- 第4巻『貿易と産業』 日本貿易博覧会事務局・日本電報通信社写真部編・発行／1950年
- 第5巻『長野平和博覧会誌』 矢ヶ崎賢次編・長野市役所発行／1950年
- 第6巻『日本貿易産業博覧会“神戸博”会誌』 日本貿易産業博覧会事務局編・発行／1951年
- 第7巻『北海道開発大博覧会誌』 北海道開発大博覧会編・発行／1951年
- 第8巻『高岡産業博覧会誌』上巻 高岡産業博覧会事務局編、高岡産業博覧会発行／1952年
- 第9巻『高岡産業博覧会誌』下巻 高岡産業博覧会事務局編、高岡産業博覧会発行／1952年



富山産業大博覧会（昭和29年）



全日本宗教博覧会（昭和25年）



日本貿易博覧会（昭和24年）